

テレビ放送における「基幹放送」の条件とその変化

〔概要〕

「基幹放送」という概念は、1960年代NHKによって自局を民放と差別化するため考案されたが、1980年代には政策側によって、地上波放送局を他のニューメディアと区別するために使われるようになった。近年ではBSデジタル放送が自身の存在をアピールするために用いている。変化の源泉は製品差別化戦略にあり、その後総合編成義務という規制根拠となったが、多メディア多チャンネル時代を迎え、その必然性は消滅しようとしている。